

構造設備についての調査票

※該当に○またはレ、下線部に記入

洗面用水(水道水・地下水) → 直結・受水槽 25 m³ 有効容量を記入する

浴槽に使用する水の種類(水道水・地下水・温泉) → 温泉 1 種類

浴槽に使用する循環していない湯を貯留する貯湯槽 (有)・無)

(1) 全ての箇所において60℃以上を保持する加温装置 (有)・無)

貯湯槽に温度計の設置 (有)・無)

(2) 貯湯槽内の湯水の消毒設備 (有)・無)

新鮮湯は、湯面より上から落とし込みである

浴槽水は、十分にろ過した湯水又は原湯を使用する

分湯マスや調整箱 (有)・無)

清掃等の管理は (施設)・温泉供給元 ())

ろ過器 (有)・無) ろ材 (砂・その他())

ろ過器の1時間当たりのろ過能力は、浴槽の容量より大きい

ろ過能力 ①5.0 m³/1時間 ②10.6 m³/1時間 ③_____ m³/1時間

ろ過器は十分な逆洗浄ができる

集毛器はろ過器の前に設置されている

塩素系薬剤等の注入口又は投入口は、集毛器の後、ろ過器の直前に設置されている

浴槽水のろ過器や昇温装置等の循環配管 (有)・無)

循環水の補給口の位置は、浴槽の底部に近い部分にある

新鮮湯は、循環配管につながっていない

オーバーフロー回収槽 (有)・無)

6面点検が可能であり、容易に清掃が出来る構造である

消毒設備は浴用とは別に消毒設備がある

打たせ湯 (有)・無) 循環湯を使用していない

シャワー (有)・無) 循環湯を使用していない

気泡発生装置、ジェット噴射装置その他の水粒を発生させる設備 (有)・無)

空気取入口から土ぼこりが入りにくい構造である

露天風呂と内湯の有無 (両方有) 内湯のみ・露天風呂のみ)

露天風呂の湯が内湯に混じる構造がない HCはヘアキャッチャーのことです。

浴槽の名称	容量	ろ過器の有無	ろ過器の番号	昇温循環の有無	消毒方法	浴槽使用水	備考
露天風呂(男女入替)	2.0 m ³	有・無		有・無 HC 有・無	塩素系 塩素以外 ()	水道水 温泉 その他()	
男子内湯	4.2 m ³	有・無	①	有・無 HC 有・無	塩素系 塩素以外 ()	水道水 温泉 その他()	
女子内湯	8.2 m ³	有・無	②	有・無 HC 有・無	塩素系 塩素以外 ()	水道水 温泉 その他()	
貸切風呂(内湯)	1.2 m ³	有・無		有・無 HC 有・無	塩素系 塩素以外 ()	水道水 温泉 その他()	

浴槽の縦×横×深さから、浴槽内のお湯の容量を計算する。例：1.2m×2.0m×0.5m = 1.2 m³
 ※ 1 m³(立方メートル) = 1 立米(リットル) = 1,000ℓ(リットル) = 1m(メートル)×1m(メートル)×1m(メートル) = 1 t(トン)